

起された村木協同組合、三重縣における佐奈村及
 山崎村における西田の屋敷地権人會權獲得闘争、昨年
 九月岡山縣に惹起せる農村政務土木事業に於ける奉刺
 待遇反對闘争などは、何れも部落民大會、部落代表者
 會議等の大衆闘争で戦はれ、部落代表者會議等の大
 衆闘争で戦はれ、未組織の大衆をその闘争に引入れる
 ことに成功しを。昔々ばかりの闘争形態を採用するこ
 とによつて意識的、計劃的に組織された身分闘争を全
 國的規模に於いて達成し、それをより高度な闘争に發
 展させる爲の活動を強力に推進起さねばならぬ。これ
 こそが闘争上の「部落民委員會活動」である。

部落民委員會活動は恒常的なカムパニヤとして全國の
 部落民を起さねばならぬ。村から郡へ、縣から地方
 へ、そして全國へ擴大された部落代表者會議を組織し

て身分闘争の波を全國に及ぼすことによつて一般労働
 大衆との結合を強化せねばならない。この大衆闘争こ
 そ本平は運動が地帯に犯した一切の障礙を清算して、
 眞に身分闘争を部落闘争大衆の事業の上に再組織し、
 階級闘争の一分野として發展し強化するであらう。

(エ) 部落民委員會活動方面の闘争題目

マルジョア、地主政府は部落民大衆の身分關係に反對
 する闘争を激進にせよ。階級闘争に合流することを
 掲げる爲に毎年田圃高田舎(田舎)と府縣警察とを合せ
 て(こ)を押しし大衆政策である部落改善施設事業及階級
 運動を行つてゐるが、最近特にその反動政策を強化し
 た。マルジョアは、階級の打撃と獨占資本に壓倒
 されて無常な破産没落する部落の中小商工業者及農民
 に類せる労働者農民の間に燃起せんとする反抗を緩和